

【よくある質問】

1 入学準備金関係	
1-1	◎ 入学準備金を学生本人が借りることはできますか。 ① できません。 学生の生活を主に支える保護者（親権者、後見人等）にお貸しします。
1-2	◎ 入学金等を支払い、入学準備金を借りましたが、都合により入学を辞退し、今年度はどの学校にも通わないことになりました。入学準備金の返還はどうすればいいですか。 ① 全額を速やかに一括で返還していただくことになります。
1-3	◎ 入学準備金は編入学でも借りることができますか。 ① 短期大学卒業後4年制大学の2年次や3年次に入学、高等専門学校卒業後4年制大学の3年次に入学する場合は貸与の対象となります。 A高校1年生で2年生からB高校に通うといった転校は対象外です。
1-4	◎ 入学準備金は父母のどちらでも申し込めますか。 ① 主に生計を支える方の名前で申請していただきますが、申請にあたってはご家族でよく話し合い、みなさんが納得して申請してください。また、入学する方1名に対して1件の申請とし、父母別々での2件以上の申請はお断りします。
1-5	◎ 共稼ぎで、父母ともほぼ同様の収入です。父が申請者で、母が連帯保証人でもいいですか。 ① 連帯保証人は別世帯の方となります。
2 修学資金関係	
2-1	◎ 修学資金を保護者が借りることはできますか。 ① できません。 学生本人が借りて、卒業後に責任をもって返還していただきます。ただし、保護者の方には連帯保証人になっていただく必要があります。連帯保証人が返還することは妨げません。
2-2	◎ 修学資金の成績の基準はどのくらいですか。 ① 学校長から推薦が得られることを条件としていますが、選考は成績だけではなく、家庭の経済状況、理由書に書かれた内容等を考慮し総合的に判断します。
2-3	◎ 修学資金の申請に必要な推薦書はどこで発行してもらえますか。 ① 令和8年4月に入学する方は、令和8年3月まで在籍する学校です。（既卒の場合は最終出身校です。） 令和8年4月に2年生以上に進級する方は、現在の在学で発行してもらってください。
2-4	◎ 修学資金の連帯保証人（保護者）は父母のどちらでもいいですか。 ① 主に生計を支える方でお願いしますが、申請にあたってはご家族でよく話し合い、みなさんが納得して申請してください。
2-5	◎ 修学資金の理由書を親が書いても構いませんか。 ① 審査の際のとても大切な資料です。必ず申請者である学生本人が記載してください。

3 入学準備金・修学資金 共通

3-1	◎ 申請は、早くしたほうが有利ですか。 ① 締切後に全申請者を審査します。申請時期が貸与の可否に影響を及ぼすことはありません。ただし、締め切り間際に申請し、書類に不備があった場合等、結果的に不利になる場合があります。日程に余裕を持って申請してください。
3-2	◎ 離婚して母子家庭ですが、父親である元配偶者の源泉徴収票も必要ですか。 ① 父母が離婚している場合、父母のうち親権者でない方の源泉徴収票は不要ですが、養育費を受け取っている場合は特記事項欄に記入するか、理由書に家計の状況を記載しその額を明記してください。
3-3	◎ 無職で収入がありません。所得を証明する書類はどうすればいいですか。 ① 無収入で、申請時に提出される他の方の源泉徴収票等に被扶養者であることが明記されている場合は、扶養されている方の所得を証明する書類はなくても結構です。ただし、扶養控除対象として認められる範囲内の額でも、何らかの収入がある場合は提出が必要となります。
3-4	◎ 海外留学は対象ですか。 ① 対象外です。 当市の奨学金制度は、学校教育法に定める学校を対象としているため、海外の学校は対象外です。
3-5	◎ 日本学生支援機構や、学校独自の制度などの他の奨学金制度を利用予定ですが、奥州市の入学準備金と修学資金も借りることができますか。 ① できます。 後に必ず返済することを考え計画的に利用してください。
3-6	◎ 申し込み状況はどうですか。 ① 今年の状況はまだわかりません。 定員以内の申し込みであっても、申請の内容によっては貸与が不可となる場合があります。 (学費の支弁が困難とは認められない等、申請要件を満たしていない場合)